



## **GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社**

2024 年 12 月期 通期決算説明会

2025 年 2 月 13 日

## イベント概要

---

[企業名] GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社

[企業 ID] 3788

[イベント言語] JPN

[イベント種類] 決算説明会

[イベント名] 2024 年 12 月期 通期決算説明会

[決算期] 2024 年度 通期

[日程] 2025 年 2 月 13 日

[ページ数] 31

[時間] 15:00 – 15:28  
(合計：28 分、登壇：20 分、質疑応答：8 分)

[開催場所] インターネット配信

[会場面積]

[出席人数]

[登壇者] 1 名  
代表取締役 社長執行役員 青山 満 (以下、青山)

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 登壇

**司会：**本日はお忙しい中、GMO グローバルサイン・ホールディングス 2024 年通期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。本日の説明会は代表取締役、青山満よりご説明をさせていただきます。説明終了後、質疑応答の時間を設けております。

それではこれより開始させていただきます。青山社長、お願いいたします。

**青山：**青山でございます。本日はお忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございます。

さっそくですが、2024 年 12 月期通期決算についてご説明いたします。

### GMOインターネットグループ セキュリティユニットとしての役割

## 「ネットのセキュリティもGMO」



あらゆるインターネットサービスへ電子証明書を提供



GMOグローバルサイン+ID  
GlobalSign

4

決算説明に入る前に、今年のGMOインターネットグループ全体のスローガンについてお話をさせていただきます。近年のサイバー攻撃の激化、そして1995年に始まったインターネット革命が折り返し地点を迎えた今、「すべての人に安心な未来を」というキャッチコピーのもと、スローガンとして「ネットのセキュリティもGMO」を掲げ、グループ一丸となりセキュリティ事業に全力で取り組むことが決定いたしました。

当社につきましては、世界で4社しかないグローバルでシェアを持つ電子認証局のうちの1社として、その中心を担ってまいります。セキュリティの基盤である電子認証・印鑑事業のみならず、ク

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



クラウドインフラ事業、DX 事業においても、グループシナジーを生かし、セキュリティを付加価値とした唯一無二のサービスとして差別化を図ってまいります。

GMOインターネットグループ セキュリティユニットとしての役割

## 事業ブランディング



<https://www.gmogshd.com/overview/certification-authority>



[https://www.youtube.com/playlist?list=PL1XTR5yI0\\_2UmuLMzb4ZWA5GH0oNE3uT](https://www.youtube.com/playlist?list=PL1XTR5yI0_2UmuLMzb4ZWA5GH0oNE3uT)

GMO グローバルサイン+ID  
GlobalSign

5

さらには、当社事業についてのブランディング活動も充実させてまいります。

電子認証事業自体、一般的には耳なじみのない言葉ですので、インターネット上の見えない部分で貢献していることの理解促進を図るため、ブランディングページを公開いたしました。

また動画にて、eシールやC2PAなど、我々が取り組んでいるミッションについて、図解を用いた説明で、日本語だけでなく、英語での発信も開始しております。このような活動の成果といたしまして、昨今メディア様から取材依頼の機会も増えており、また高校から企業見学の要請もあり、当社が担っているセキュリティの重要性を理解していただきました。

今後も、ブランディング活動は重要なミッションとして継続してまいります。

それではここから決算説明をさせていただきます。

こちらが本日のアジェンダになります。初めに連結業績についてご報告させていただき、続いて各事業の状況についてご説明いたします。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

3

## 2024年Q4 決算ハイライト

### 重点商材の成長好調 欧米でのSSL販売が復調

<b>重点KPI</b>	電子印鑑なら <b>GMOサイン</b>	<b>重点KPI</b>	<b>GMO</b> トラスト・ログイン
売上	<b>1.44倍</b>	売上	<b>1.41倍</b>
契約件数	<b>1.40倍</b>	契約件数	<b>1.21倍</b>
送信件数	<b>1.40倍</b>	有料ID数	<b>1.30倍</b>
<b>Point 1</b>	GMOサインがQ4黒字化達成	<b>Point 2</b>	電子認証・印鑑事業の売上高は 前期比11.7%増

GMOグローバルサイン+ID  
●GlobalSign

8

それでは、通期の決算概要についてご説明いたします。

2024年12月期通期の決算ハイライトについてご説明いたします。注力事業であるGMOサインとGMOトラスト・ログインは引き続き好調に事業を拡大させており、ともに前期比40%以上の売上成長を達成いたしました。

電子認証・印鑑事業全体につきましても、第4四半期におけるGMOサインの黒字化、同じく欧米におけるSSL証明書の販売復調により、通期での売上は前期比11.7%と、成長を維持いたしました。

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 2024年Q4 決算サマリー[累計比較]

- ・売上増収、営業利益は通期予想未達も当期純利益は15%成長
- ・それとともない増配を予定

(百万円)	2023年Q4実績	2024年Q4実績	前年同期比	2024年通期予想	達成率
売上高	17,499	<b>19,166</b>	+9.5%	19,250	<b>99.6%</b>
営業利益	1,289	<b>1,246</b>	△3.3%	1,450	<b>86.0%</b>
経常利益	1,316	<b>1,297</b>	△1.4%	1,387	<b>93.5%</b>
親会社株式に帰属する 当期純利益	739	<b>854</b>	+15.5%	840	<b>101.7%</b>
EBITDA※	1,865	<b>2,037</b>	+9.2%	-	-

※EBITDA：営業利益と減価償却費の合計値

GMOグローバルサイン+HD  
●GlobalSign

10

こちらが2024年12月期通期の決算サマリーです。

連結業績は売上高が191億6,600万円、営業利益が12億4,600万円となりました。

主に重点商材の成長により、前年比で約10%の増収となっております。当社は、2024年12月期の配当性向を当期純利益の50%をめどとする方針を策定しております。当連結会計年度に関しましては、期初の通期予想を上回りましたので、増配を予定しております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

## 四半期売上高推移

・SSL証明書について、Q3で主に中国での受注減少による一次的な売上減少があるも、Q4は主に欧米における受注環境改善により増収



12

こちらが四半期ごとの売上高推移です。

第4四半期における連結売上高は50億9,400万円となり、前年同期比で9.2%の増収となりました。

第3四半期において、景気影響等により、中国のSSL証明書の販売が減少いたしました。第4四半期の欧米における受注環境の改善により、それをカバーいたしました。

国内では、GMサインおよびGMOトラスト・ログインの継続的な成長もあり、その結果、電子認証・印鑑事業は前年同期比の約10%の増収となりました。

クラウドインフラ事業では、CloudCREWの順調な売上成長により、前年同期比で7.7%増収となりました。

DX事業につきましては、微減という結果になっております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 四半期営業利益推移

・ GMOサインおよびSSL証明書の売上増加により、Q3比で大きく増益



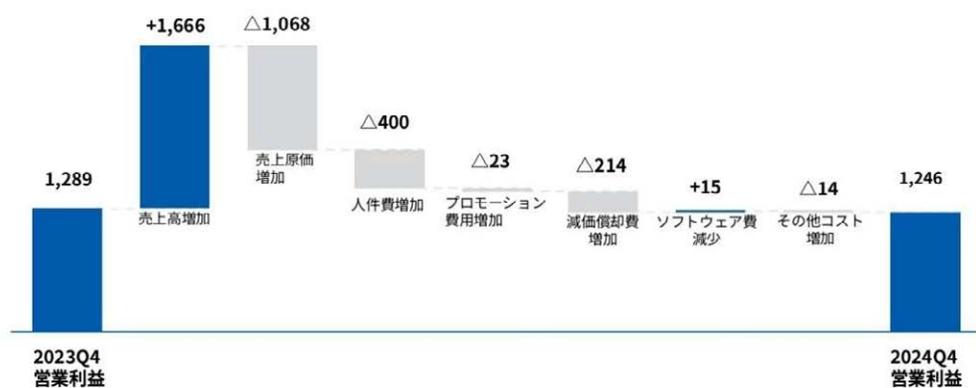
13

第4四半期の営業利益は前年同期比では微減の4億3,100万円となりました。しかし、第3四半期との比較では、GMOサインの単月黒字化およびSSLサーバ証明書の売上増加により、大きく伸長しております。

## 営業利益増減分析

・ GlobalSignの認証局新プラットフォーム開発により売上原価および減価償却費が増加

(百万円)



GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

14

営業利益の増減分析についてご説明いたします。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

当期の営業利益は、前期比 4,200 万円減少の 12 億 4,600 万円となりました。売上が約 16 億 6,000 万円増加した一方で、グローバルサインの電子認証サービスにおいて、電子認証局のシステム開発を継続しているため、売上原価および減価償却費が増加しております。また、クラウドインフラ事業におけるソフトウェア利用料の値上げも売上原価増加の要因となりました。

## 販売管理費及び一般管理費の四半期推移

・電子認証局の開発投資による減価償却費ならびに、主に欧米での人件費が増加



15

販管費の四半期推移はご覧の通りです。

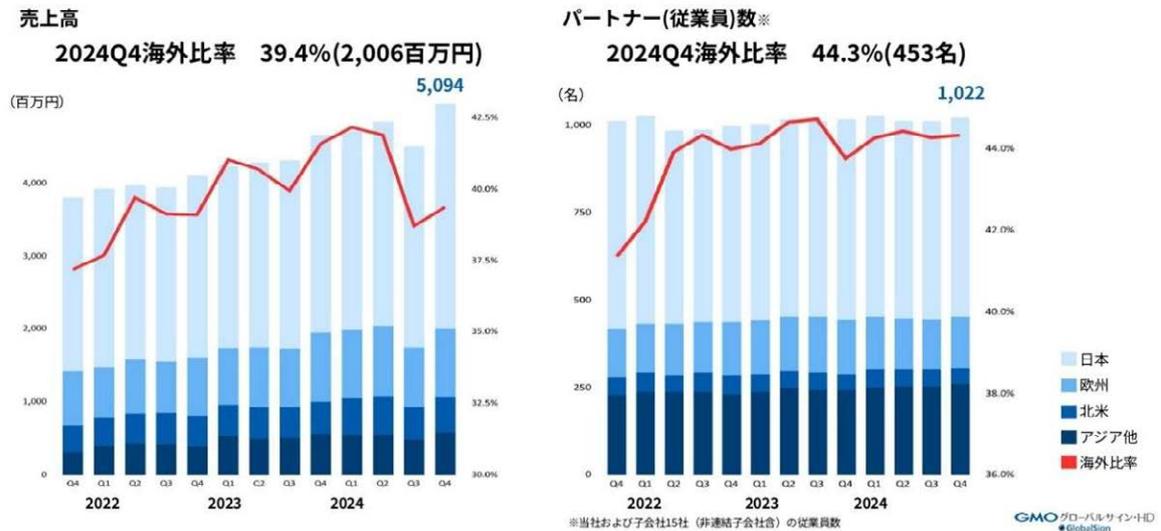
先ほどご説明した通り、将来の成長を見据えた投資として、電子認証局のシステム開発継続により、減価償却費が増加しております。また人件費につきまして、特に欧米地域において高騰している影響もあり、通期では約 4 億円増加いたしました。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## グローバル拠点別推移

・国内注力事業の売上好調により海外比率は微減も、Q4では欧米でのSSL証明書販売が復調



16

決算概要の最後は、エリア別の売上高とパートナー数の推移についてです。

まず、売上につきましては国内、海外ともに増収ですが、特に日本国内で大きく伸長したため、海外比率は2.2ポイント減少しております。

また北米地域では、他社からの電子証明書の乗り換えの需要増加もあり、売上を伸ばしております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 2025年 通期業績予想

「セキュリティ」を軸として、重点商材を中心に全セグメントで成長拡大を目指す

(百万円)	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)	2024年比
売上高	19,166	<b>20,397</b>	+ 6.4%
営業利益	1,246	<b>1,434</b>	+ 15.1%
経常利益	1,297	<b>1,422</b>	+ 9.6%
親会社帰属利益	854	<b>880</b>	+ 3.0%
1株当たり 純利益(円)	73.08	<b>75.27</b>	-

GMOグローバルサイン+HD  
GlobalSign

17

2025年12月期の業績予想についてご説明いたします。

通期の業績予想は、売上高が203億9,700万円、営業利益が14億3,400万円となります。

冒頭でお話ししましたGMOインターネットグループのスローガン「ネットのセキュリティもGMO」のもと、当社はそのセキュリティユニットの中心となり、注力事業をさらに拡大し、またグループシナジーを最大限活用して、全セグメントでの売上成長を図ります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

10

## 2025年 通期業績予想〔セグメント別〕

- ・全ての事業セグメントで増収増益予想
- ・GMOサインの通期黒字化により利益貢献を見込む

売上高				営業利益			
セグメント	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)	2024年比	セグメント	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)	2024年比
電子認証・ 印鑑	12,120	<b>13,142</b>	+8.4%	電子認証・ 印鑑	1,151	<b>1,332</b>	+15.7%
クラウド インフラ	6,634	<b>6,906</b>	+4.1%	クラウド インフラ	154	<b>164</b>	+6.4%
DX	944	<b>1,054</b>	+11.6%	DX	△72	<b>△56</b>	-
消去又は 全社	△533	<b>△704</b>	-	消去又は 全社	13	<b>△5</b>	-
連結計	19,166	<b>20,397</b>	+6.4%	連結計	1,246	<b>1,434</b>	+15.1%

GMO グローバルサイン+HD  
●GlobalSign

18

こちらはセグメント別の業績予想です。

前年同様、電子認証・印鑑事業が全体を牽引することで、売上利益ともに伸ばしてまいります。

クラウドインフラ事業では、CloudCREW のさらなる成長、ならびにその他の商材のリブランディングも予定しており、主に法人向けクラウドサービスの確固たる地位を確立するよう邁進してまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 電子認証局の技術・ノウハウを生かしたサービス群



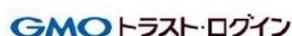
インターネット上の身元証明機関「電子認証局」を自社運営

- SSLシェア 国内No.1、世界No.3



立会人型・当事者型すべての署名を提供する電子契約サービス

- 契約送信件数 国内 No.1



シングルサインオンサービス

- 連携アプリ数 国内No.1

ここからは各セグメントの事業についてご説明いたします。

初めに、電子認証・印鑑事業です。

当セグメントのサービス概要はご覧の通りです。

当社は自社保有の電子認証局の技術とノウハウを強みに、さまざまなサービスを展開しております。

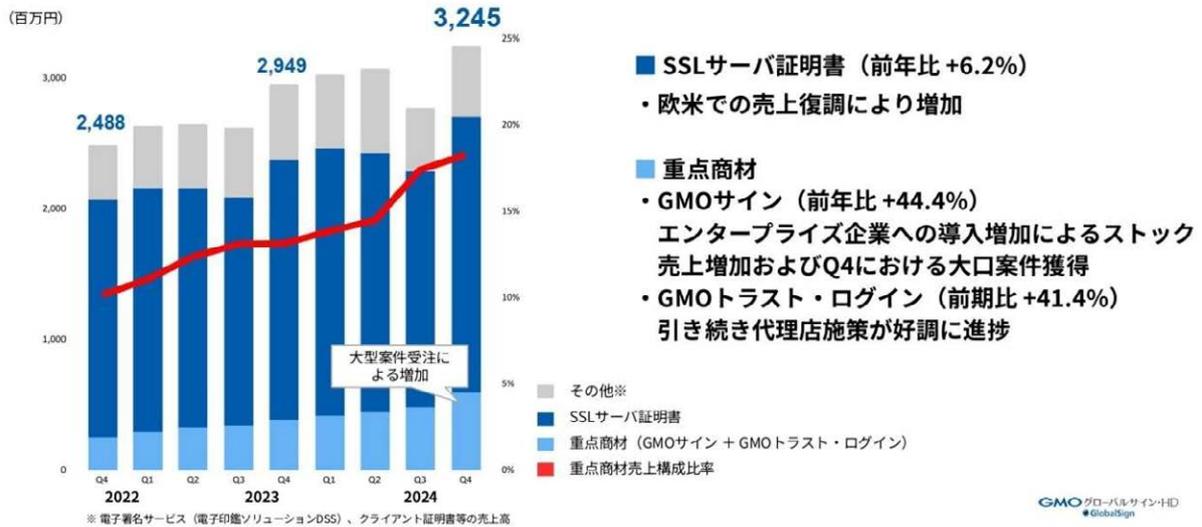
グローバルサインはSSLサーバ証明書で国内シェア、ナンバーワン。GMOサインは契約送信件数で国内ナンバーワン。GMOトラスト・ログインは連携アプリ数で国内ナンバーワンとなっております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 商材別四半期売上推移

・引き続きGMOサインおよびGMOトラスト・ログインの成長により、重点商材の売上構成比率が高まる



四半期ごとの商材別売上推移です。

重点商材である GM サイン、GMO トラスト・ログインは順調に右肩上がりの成長を続けており、ともに前年比で 40%以上の売上成長を達成いたしました。両サービスともに、大企業様への導入増加がストック売上の増加に寄与しております。

## 電子印鑑GMOサインのKPI推移



※ 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数 (タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービスが対象) GMOリサーチ&AI株式会社調べ (2024年12月)  
 ※2 「電子印鑑GMOサイン」のアカウントを持つ契約社数。事業者 (企業または個人) につき1アカウント。複数アカウントをご利用の場合、重複は排除  
 ※3 四半期毎の契約送信件数を集計

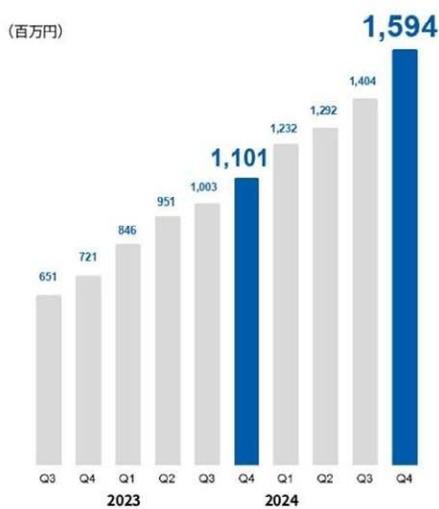
### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

こちらは GM サインの KPI 推移となります。

累計の契約者数、そして四半期ごとの契約送信件数ともに、前期比で 40%の増加と順調に成長しております。前のスライドの通り、売上成長も同様に 40%以上ですので、有償化への切り替えが順調に進んでいることがおわかりになるかと思えます。

## 電子印鑑GMOサインのARR推移※



フリープランの有償化が加速していることにより、大きく成長

前年同期比  
**+45%**

※ Annual Recurring Revenue の略称。各四半期の平均売上（一時収益を含まない）を12倍して算出。

次に、GMO サインの ARR の推移についてご報告いたします。

ARR は前年同期比で 45%の増加と、引き続き高い成長を維持しております。継続して取り組んでいるウェブ広告出稿や、フリープランのお客様に対する有料化キャンペーン施策の効果が高い成長率の要因となっております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 契約企業（一部抜粋）

GMOグローバルサイン+HD  
●GlobalSign

25

こちらは導入企業の一覧です。

有料契約を締結いただき、掲載許可を得た企業様のみを掲載しております。

直近でも、タクシー配車アプリを運営するGO株式会社様に導入いただくなど、契約送信数をより多く見込める企業様への導入が増えております。今後もさまざまな企業様にご満足いただけるサービスを提供し、さらなる市場拡大を目指してまいります。

## サポート

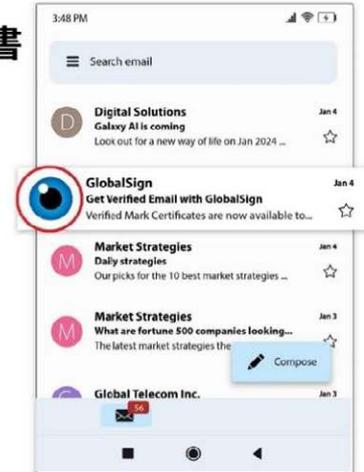
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 認証技術をコアとした新サービスの事業化①

- 企業のブランド・信頼性を守る認証マーク証明書 (VMC)

認証済みのメールにブランドロゴを表示

(メールロゴ認証証明書)



26

続きまして、成長に向けた取り組みをご紹介します。

初めに、電子認証関連の事業について3点ご説明いたします。

VMCと呼ばれるメールロゴ認証証明書を、今期より提供開始いたします。企業が自社ブランドの信頼性を視覚的にアピールし、なりすましメールやブランドイメージの毀損を防ぐためのソリューションになります。当社は、メールにブランドのロゴを表示するための世界規格である BIMIMI のリストに掲載されているわずか3社のうちの1社でもあります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 認証技術をコアとした新サービスの事業化②

- 信頼性あるeシール（電子社印）  
企業や団体などの組織としての  
正当性を証明



27

次に e シール、電子社印についてです。

当社では、2022 年より、帝国データバンク様などの協業社と実証実験を続けてまいりましたが、先般報道があった通り、総務省より今年 3 月に国の認定制度を創設し、今年度中に運用を開始する旨、発表がありました。この制度を追い風に具体的な e シール対応サービスの事業化に取り組んでまいります。

## 認証技術をコアとした新サービスの事業化③

- デジタルコンテンツの信頼性を担保する電子透かしサービス（C2PA）  
デジタルコンテンツ（画像や映像）の信頼性・信ぴょう性・来歴を担保



28

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

3点目はデジタルコンテンツへの信頼性、信ぴょう性、来歴を担保するための標準化仕様を行っている団体であるC2PAの参加になります。

昨今の生成AIの一般化により、デジタルコンテンツの信頼性問題、言い換えればフェイク動画を使ったニュースの問題が顕在化しております。C2PAの仕様では、コンテンツの信頼性確保に電子証明書の技術を利用します。ここに、グローバルサインの技術やノウハウを十分生かすことができるものと考えております。

## シェア拡大に向けた差別化①

### GMOサイン電子公印（自治体における処分通知の電子化）

- デジタル庁が推奨する電子化した処分通知の交付方法に対応
- 長野県白馬村・大阪府東大阪市に導入、今期はその他多くの自治体に導入予定

次にGMOサインに関連した成長に向けた取り組みについてご説明いたします。

1点目は、GMOサイン電子公印です。

昨年11月に、デジタル庁が推奨する電子化した処分通知の交付方法に当サービスが対応いたしました。これにより、処分通知への電子署名だけでなく、交付についても、デジタル庁が推奨する方法にのっとった運用が可能となりました。既に白馬村および東大阪市へ導入しており、現在多くの自治体様から引き合いがございませう。当サービスは、電子契約サービスの中でも、弊社唯一のサービスであり、また契約書と比べて、電子化の件数も多いため、もちろん売上貢献にも期待しております。

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## シェア拡大に向けた差別化②

### 認定タイムスタンプ

- 認定タイムスタンプ byGMOの利用開始によりタイムスタンプの冗長化によるサービスレベルの向上
- 「延長タイムスタンプ機能」リリース 有効期間が満了を迎える電子文書の真正性を、さらに10年単位で延長

2点目は認定タイムスタンプです。

昨年11月より自社運営のタイムスタンプ、認定タイムスタンプ byGMO の利用を開始いたしました。コストメリットはもちろんのこと、従来利用しておりましたセイコータイムスタンプサービスと併用することで、冗長化によりサービスレベルの向上につながっております。また同時に、約10年で保証期間満了となる電子文書の信憑性を担保し続ける新機能、延長タイムスタンプの提供も開始いたしました。長期保存が必須の書面についても、安心してGMOサインをご利用いただけます。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## セキュリティと電子公印で自治体導入数でも**No.1**を目指す

### 141の自治体へ導入が決定※



導入自治体 (一部抜粋)

東京都	神奈川県	群馬県	北海道
静岡県	山口県	大分県	熊本県
東京都 渋谷区	東京都 足立区	福岡県 福岡市	福岡県 北九州市
愛知県 名古屋市	愛知県 豊田市	愛知県 知多市	愛知県 東海市
愛知県 大府市	長野県 白馬村	千葉県 八千代市	神奈川県 川崎市
神奈川県 横須賀市	神奈川県 茅ヶ崎市	大阪府 東大阪市	大阪府 豊中市
大阪府 枚方市	大阪府 四條畷市	大阪府 寝屋川市	大阪府 大阪狭山市
大阪府 門真市	大阪府 泉佐野市	大阪府 八尾市	大阪府 河内長野市
大阪府 堺市	大阪府 吹田市	大阪府 富田林市	大阪府 羽曳野市
大阪府 箕面市	大阪府 岸和田市	大阪府 茨木市	大阪府 岬町
大阪府 和泉市	大阪府 忠岡市	大阪府 高槻市	大阪府 守口市
大阪府 池田市	鹿児島県 奄美市	三重県 いなべ市	新潟県 三条市
福井県 坂井市	兵庫県 九つの市	兵庫県 宍粟市	滋賀県 長浜市
広島県 三原市	福島県 郡山市	福島県 いわき市	岩手県 北上市
福島県 須賀川市	群馬県 大泉町	秋田県 横手市	

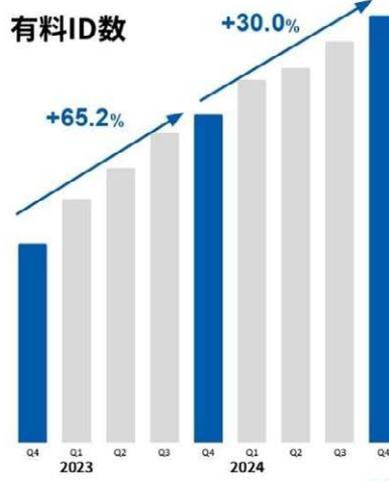
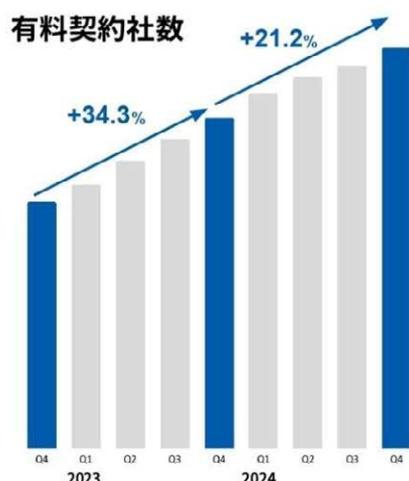
※ 2025年2月1日時点で「電子印鑑GMOサイン」または「GMOサイン電子公印」を有償契約している公共団体

続いて、自治体への導入状況についてご説明いたします。

第4四半期も、熊本県を初めとする九つの自治体様に導入いただき、導入数は141件となりました。先ほどご説明したGMOサイン、電子公印ならびに自治体が重視するセキュリティ認証を業界で唯一、全て保有できたことは、今後の自治体導入数拡大の起爆剤になるものだと確信しております。自治体導入数でもナンバーワンを目指し、事業成長をしてまいります。

## GMOトラスト・ログインのKPI推移

・リファラルプログラムなど代理店施策の強化により有料契約社数を拡大。売上は前期比+41%



### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

電子認証・印鑑事業の最後に、GMO トラスト・ログインの状況についてご説明いたします。

重要 KPI である有料契約者数は、前年同期比で 23.6%増加。有料 ID 数も 30%増加と順調に事業成長が進んでおります。昨年より進めている販売代理店施策のさらなる強化、ならびに新たな施策として、SaaS ベンダー様向けへの紹介制度として、リファラルプログラムを開始いたしました。それらの施策とともに、今期は人材採用も積極的に行い、さらなる拡大を進めてまいります。

## 契約企業（一部抜粋）



こちらは GMO トラスト・ログインの導入企業の一例です。

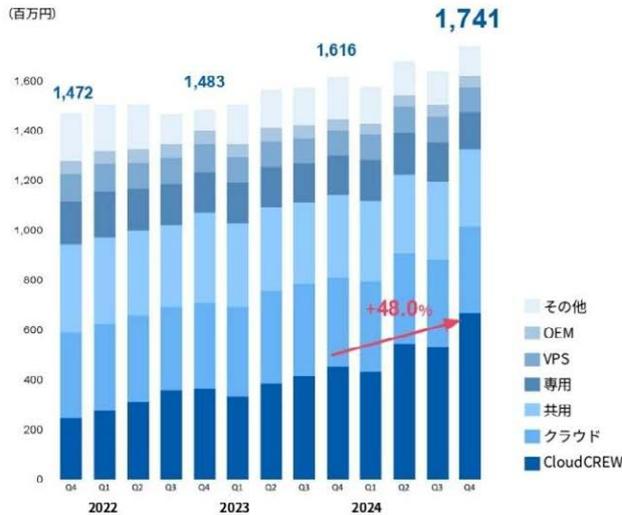
ご覧の通り、大企業様への導入が増加しており、直近でも大型案件の獲得を見込んでおります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 商材別四半期売上推移

- CloudCREW byGMOはグループシナジーを活用したセキュリティ支援サービスも堅調で、大きく増収
- セグメント全体においても前期比約+10%の増収



CloudCREW byGMO

2024年 第4四半期

売上高： **667**百万円

前年同期比： **+48.0%**

2024年12月期累計

売上高：2,173百万円 前期比：+37.5%

GMO グローバルサイン+HD  
GlobalSign

35

続いてクラウドインフラ事業についてご説明いたします。

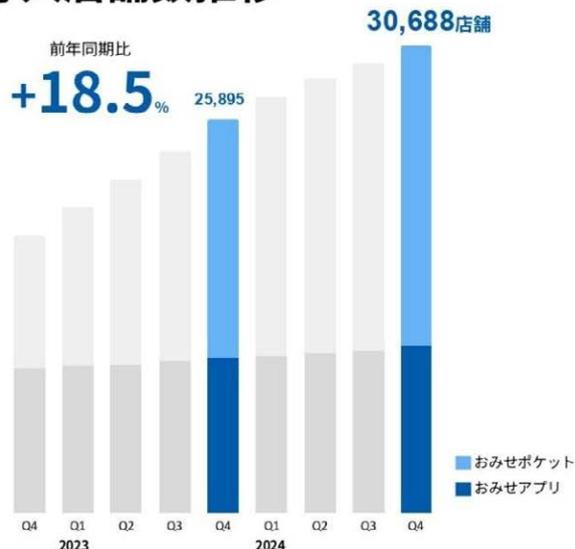
クラウドインフラ事業における商材別の四半期ごとの売上推移について、ご説明いたします。

第4四半期の当セグメント全体での売上高は、前年同期比7.7%増加の17億4,100万円となりました。通期で見ると、6.0%増加の66億3,400万円となっております。そのうち主力商材であるCloudCREWの売上高については、前年同期比48%増の6億6,700万円と当事業を牽引しております。GMOサイバーセキュリティ by イエラエ社と提携するなどの取り組みも行ってありますが、今期は新たにグループジョインしたGMO Flat Security社の脆弱性診断ツールとも連携を行い、競合との差別化を図り、さらなる事業拡大を進めてまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 導入店舗数推移

モバイル商品券  
プラットフォーム  
byGMO

民間企業へも導入拡大でさらなる成長を目指す

導入事例（一部抜粋）

**星野リゾート トマム**

 大阪府高槻市 「スクラム高槻」	 岐阜県養老町 「養老Payアプリ」	 岐阜県神戸町 「ごうとPayアプリ」
 広島県広島市 「タウベイ」	 岐阜県神戸町 「ごうとPay」	 兵庫県五色町 「ごしきPay」
 北海道札幌市 「さっぽろ心得クーポン」	 岐阜県池田町 「池田町まちを明るくする商品券」	 長崎県長崎市 「トリコPay」
 山口県山口市 「くうのむ・ちよるPay」	 山口県山口市 「山口市プレミアムクーポン」	 山口県山口市 「ちよるPay」

GMO グローバルサイン+HD  
GlobalSign

37

最後に、DX 事業についてご説明させていただきます。

最初に、アプリ事業の状況についてご説明いたします。

GMO お店アプリの導入店舗数は協業サービス、おみせポケットと合計で、前年同期比 18.5%増加して 3 万店舗を突破いたしました。モバイル商品券プラットフォーム byGMO では、星野リゾート様にてプレミアム商品券としての利用目的で導入いただくなど、自治体以外への導入も増加してまいりました。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## DX化による提供価値の創出

### 自治体DX

- プレミアム商品券
- デジタル地域通貨

### 企業DX

- デジタル株主優待券
- 社内プレミアム商品券
- 福利厚生

GMO グローバルサイン+ID  
● GlobalSign

38

アプリ事業における成長に向けた取り組みをご紹介します。

従来は、主に地方自治体が発行するプレミアム商品券や地域通貨のデジタル化サービスの位置づけでしたが、近年は、企業で活用する株主優待券や福利厚生の一環として、社内で発行するプレミアム商品券などのデジタル化ニーズが高まっております。今後は、一般企業からのリード獲得が成長の鍵となりますので、しっかりと用途の認知拡大に努め、機能拡充を含め提供価値を創出してまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 導入実績

・新機能開発および大手販売代理店の開拓により、さらなる導入拡大を図る



GMO グローバルサイン+ID  
● GlobalSign

39

続いて、DX 事業における AI 分野での投資事業である、hakarui.ai byGMO についてご説明いたします。

登録メーター数も順調に増加しており、累計での登録数は前年同期比 14%増加し、7 万メーターに迫っております。また 12 月には、点検業務に特化した ugo 社の小型ロボット、ugo mini との正式連携をリリースいたしました。

今後は、このような外部サービスとの連携および大手販売代理店の開拓を進め、さらなる拡大を目指してまいります。

2024 年 12 月期通期決算についての説明は以上になります。

「コトを IT で変えていく。」、GMO グローバルサイン・ホールディングスを引き続きよろしくお願いたします。

ご清聴、ありがとうございました。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 質疑応答

---

**司会 [M]**：続きまして質疑応答に移らせていただきます。ウェビナーにご参加の皆様のご質問をお受けいたします。ご質問のある方は画面下の QA よりご質問内容をご入力いただくか、画面下の挙手マークボタンを押してお待ちいただきますようお願いいたします。

それでは質疑応答を開始いたします。では最初にお電話で入られている方、挙手いただいている方、ご発言をお願いいたします。

**[Q]**：よろしくお祈いします。二つです。1つは、ガイダンスに関してです。今期、GMO サインも黒字化して、加えて国内 SSL の値上げがあります。電子認証・印鑑もうちょっと増益するものだと思っておりましたが、ちょっと私の予想には届かなかったようなところになります。

私の試算ですと、この二つの要因だけで 1.8 億円以上の増益要因になるのではないかとお祈いしているのですが、今期ガイダンスが 1.8 億円の増益にとどまったのは、どういった背景があるのでしょうか。何か償却費が増えるかとか、そのあたり、増減益分解みたいなものをご説明いただけますでしょうか、1 点目です。

**青山 [A]**：はい。では 1 点目についてご回答させていただきます。まずは為替の状況が不透明な状況ですので、かなり固めの数字を出しております。また今日、先ほどの説明で新しい、特に電子認証事業の新しい取り組みについて、3 点ご説明させていただきましたけれども、特に VMC、今年から販売開始します。今年の春の予定ですが、この辺りの数字については、全く入れておりませんので、実際にはもっといけるといふふうには考えております。

**[Q]**：すると何か GMO サイン、どのぐらい増益して、VMC の為替をどのぐらい保守的に織り込んでみたいな、そういう定量的な分解はございますでしょうか。

**青山 [A]**：まず GMO サインに関して言うと、昨年から、今年もそうなんですけど、前期それから今期においても、利益面では 3 億から 4 億円のプラス、引き上げになる予定です。不透明な部分というのは、グローバルサインの方で、ここについてはかなり固めとさせていただきます。為替また替については、私ども社内での為替の計画については、今のところは未公開です。

**[Q]**：御社は、為替が円安に転ぶとネガティブなのでしょうか、円高に転ぶとネガティブなのでしょうか。それでいくらかとまではいかないのですが、どちら方向のこういったリスクを保守的に見られたのでしょうか。

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



**青山 [A]**：私ども海外の売上が非常に大きいということ。特にドルだけではないのですが、ユーロであったりポンドも絡めますけれども、全体で言うと、円安の方がプラスになります。

**[Q]**：わかりました。念のため円高リスクにも備えたガイダンスを出されたということですね。

**青山 [A]**：はい。その通りです。

**[Q]**：承知いたしました、ありがとうございます。2問目ですが、やはり GMO サインです。非常に良好な伸びで、今期も 3 億円ぐらい増益要因になれるということで、非常に堅調なのですが、ここの成長に何の問題もないと考えていいのでしょうか。つまり、今期はコンサバに見ているけれども、このまま GMO サインが順調に伸びていったら、3 億円ぐらいの増益要因というのは引き続き続くのか。または、もっと施策にて加速するのか、減速するのか、みたいなそういった電子契約の競争関係の見通しに関して教えてください。以上です。

**青山 [A]**：競争環境というよりは、現時点では、市場の企業側の導入状況が一番大きく今後の成長に影響すると考えております。たとえば不動産業界、いまだに判子を使っている会社様がほとんどです。この辺りが、今後どんどん変わっていくことになると思います。足元を見ている今、非常にこの送信件数というのがどんどん伸びている状況ですので、ここは確実に今以上の成長になっていくというふうに考えております。

ただ計画上は、今の成長のスピードを維持するという形で計画を立てております。ですので、それ以上に伸ばしていきたいと考えています。

**[Q]**：ありがとうございました。すみません、イレギュラーですが、もう 1 点だけ質問させてください。前期（2024 年 12 月期）の営業利益も、下振れてしまって、ちょっと私の記憶が正しければ、しばらく、ガイダンス下振れ基調が続いているかと思えます。前期の下振れに関する整理みたいなものと、あと今期は固めに積んだとのことですが、実績の未達も織り込んで、前よりもさらに保守的に積んでいただいたと期待してよいのでしょうか、もう一度、解析など堅さに関して確認させてください。以上です。

**青山 [A]**：はい。まず、前期の下振れの一番大きな要因としては、第 3 四半期の中国での SSL 販売が、特に大口代理店様の販売が一時的な要因で不調に陥ったと、かなり大きな金額で陥ったというのがあります。ここはもう回復基調にありますけれども、ただやはりチャイナリスクも含めて、ここは固めに読んでおります。

**[Q]**：わかりました。もう本当に去年よりも堅いので、今期に関してははいよいよ自信があるという理解でいいでしょうか。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



青山 [A]：はい、その通りでございます。

[Q]：わかりました、以上です。ありがとうございました。

青山 [A]：ありがとうございます。

司会 [M]：以上をもちまして決算説明会を終了させていただきます。

本日はご参加いただきありがとうございました。

青山 [A]：ご参加ありがとうございました。

[了]

---

### 脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com